



BABY WINDOW

スイスベビーボックス-
優れた仕事による受け入れ





スイス母子救済財団

(Swiss Aid for Mother and Child Foundation)

- 妊娠や出産で困窮している母親にカウンセリングやサポートを提供する独立した慈善団体
- 1998年創立
- 2017年には1442件の援助要請
- 24人のモチベーションの高い従業員とたくさんのヘルパーボランティア
- 常時2万人の寄付者
- 6つのベビーウィンドウ



ベビーウィンドウ – ドイツのアイディア

- **2000年夏**
ハンブルクのベビーハッチについて
新聞報道
- **2000年秋**
アインジーデルン (Einsiedeln)
病院にコンタクト
- **2001年春**
スイス初のベビーウィンドウの
開設



アインジューデルン (Einsiedeln) における初の ベビーウィンドウ

- 2001年9月開設
- 多くのメディア報道：

5つのテレビ局
30人のラジオ及び新聞記者
4時間にわたるインタビュー
- それ以後：
13人の健康な赤ちゃんがベ
ビーウィンドウに預けられた



ベビーウィンドウの目標

- 1) 幼児遺棄や幼児殺害を防ぐこと（命を守る）
- 2) 妊娠した極限状態の女性に解決策を提供すること
- 3) 命のケアのシンボルを築くこと



2001年の司法省の反応： ベビーウィンドウは違法だ！

- 子供のアイデンティティに対する権利の侵害
(国連条約II 第24条)
- 子供の両親を知る権利の侵害
(国連子どもの権利条約 第7条)
- 3日以内に子供を登録する義務の違反
(スイス民法、母親に対する500スイスフランを上限とする罰金)

❌ **ベビーウィンドウは違法なので、廃止するべきだ！**



なぜベビーウィンドウは廃止されなかったか

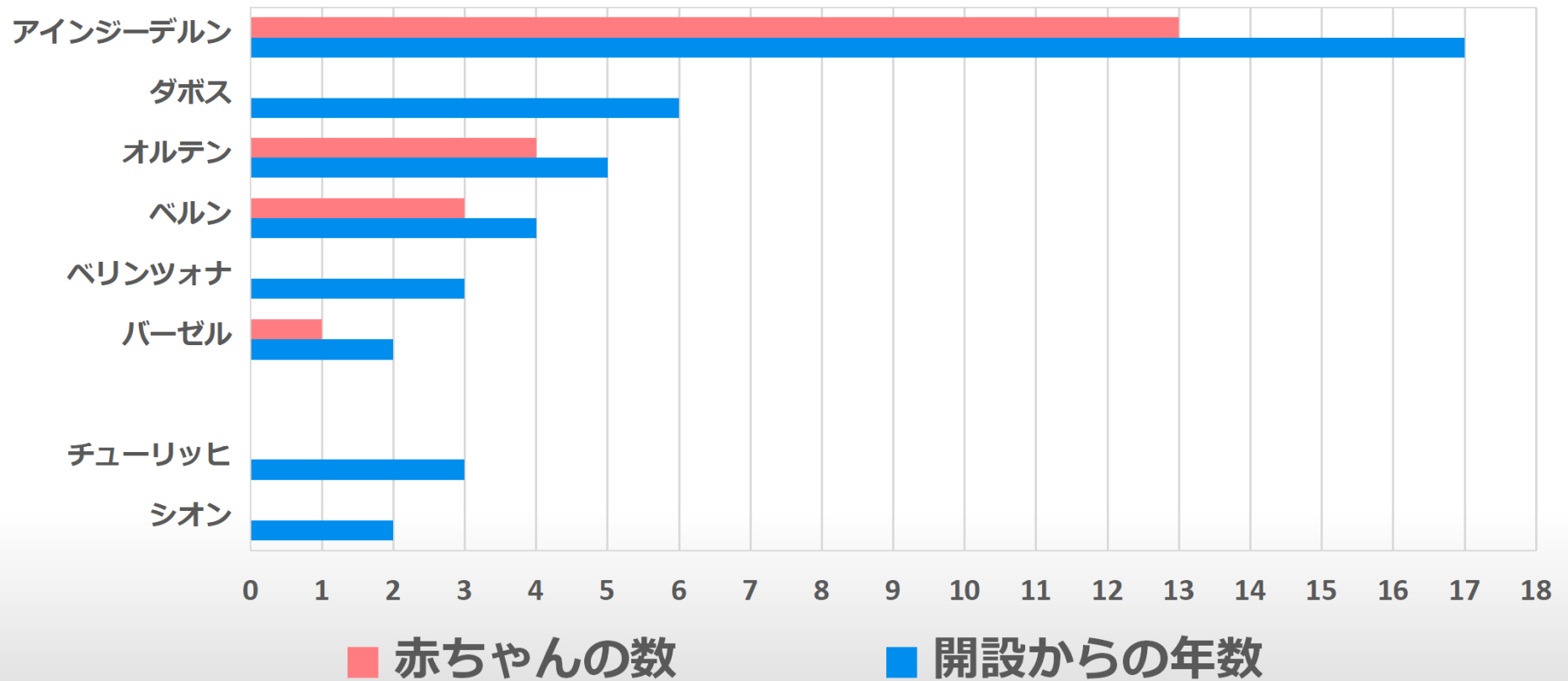
- ベビーウィンドウは**民間病院**に開設されたため
- ベビーウィンドウは**幼児遺棄と幼児殺害を防ぐ**ことを目的としているため
- ベビーウィンドウはすぐに**民衆の心**をつかんだため
- **州政府**がベビーウィンドウを擁護したため



現在: 6つのSAMCによるベビーウィンドウとその他2つがある



スイスにおけるベビーウィンドウ



質の良いベビーウィンドウの5つの基準

- 1) 最適な場所／病院の選択
- 2) 3つの機関による協力
(青少年福祉室(Youth Welfare Office)、病院、SAMC)
- 3) 内部プロセスの標準化
- 4) アラーム機構のためのベストな技術
- 5) 世論形成の助けとなる定期的な統計

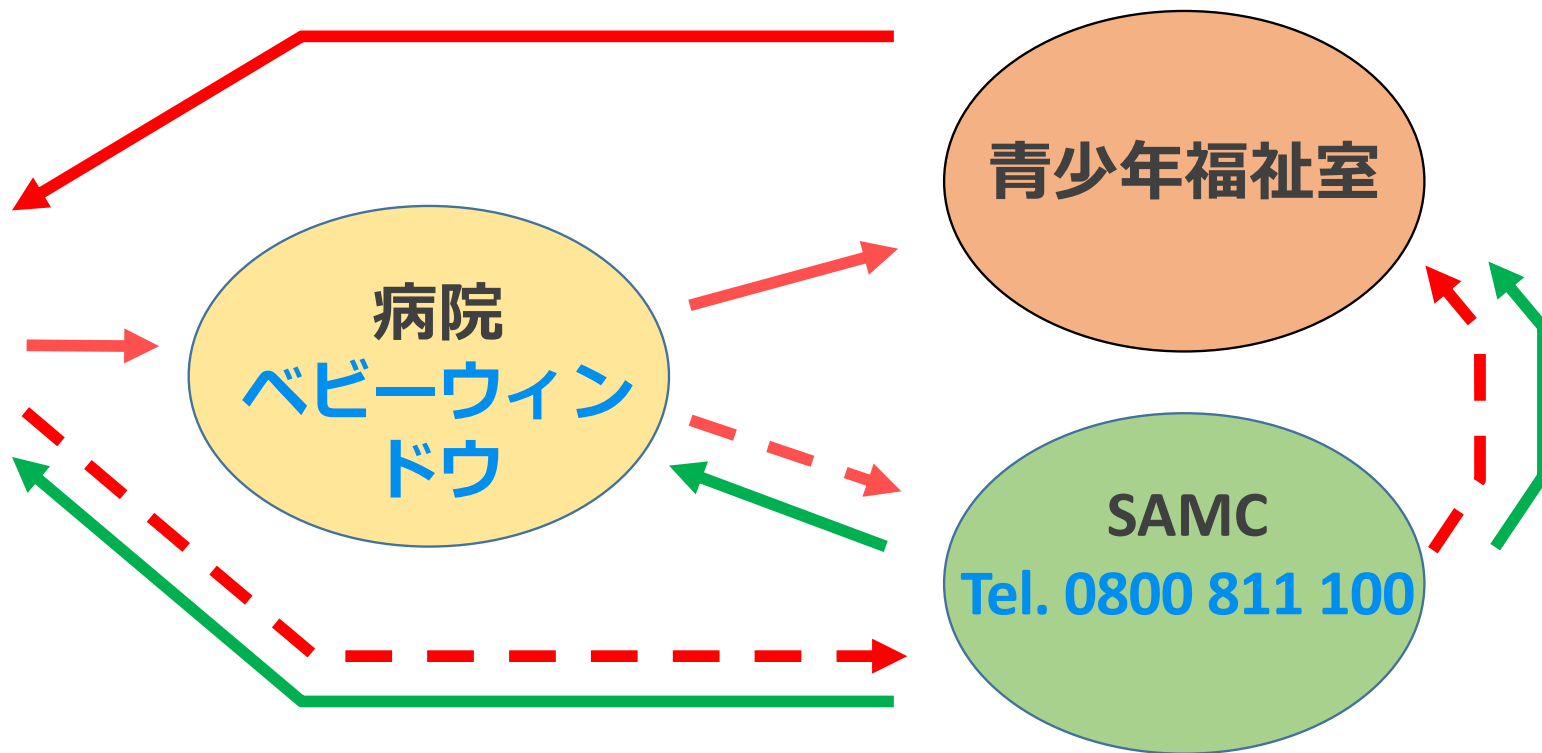


1) 最適な場所／病院による質

- 選択される病院は**新生児用の集中治療室（ICU）**を持っていないなければならない(産科病棟内、もしくはは子供病院に)
- **民間病院**が好ましい：より安定的でマーケティング目的としてもベビーウィンドウを必要としているため
- 最も近いベビーウィンドウからの**距離を保つ**：少なくとも40km



2) 協力の質



——▶ 赤ちゃん - - -▶ 情報

——▶ サポートおよび資金

3) 標準化プロセスによる質

ベビーボックスのアラームの手順

- 赤ちゃんの写真を撮る
- もし子供が死んでいたら: 警察を呼ぶ
- 赤ちゃんを本部へ連れていく
- 場合によっては、蘇生アラームを引く
- 衣類、手紙などを保管する
- 血液検査 (種々の検査)
- ワクチン投与 (B型肝炎)
- 状態 (種々の検査)
- 子供を保護された部屋へ置く



病院でのコミュニケーションプラン

内部へ情報提供

- 経営陣へ
- 医療スタッフへ
- コミュニケーション部へ

外部へ情報提供

- 青少年福祉室へ
- スイス母子救済財団へ
- 公式声明を出す: “お母さん、連絡してください！”
- ウェブサイトやソーシャルメディアへ
- ✗ 病院のマーケティングとしてのコミュニケーション
- ✗ 母子のプライバシーを保護する



4) 最良の技術の質

- 窓を閉めるのではなく、開けるとアラームが作動する
- 約7分後にアラームが鳴る
(母親の匿名性の保護)
- 少なくとも2つの独立したアラームシステムを提供：窓の開放検知器、光電子センサー、重量アラーム
- ビデオ監視はない
- 定期的なチェックと記録



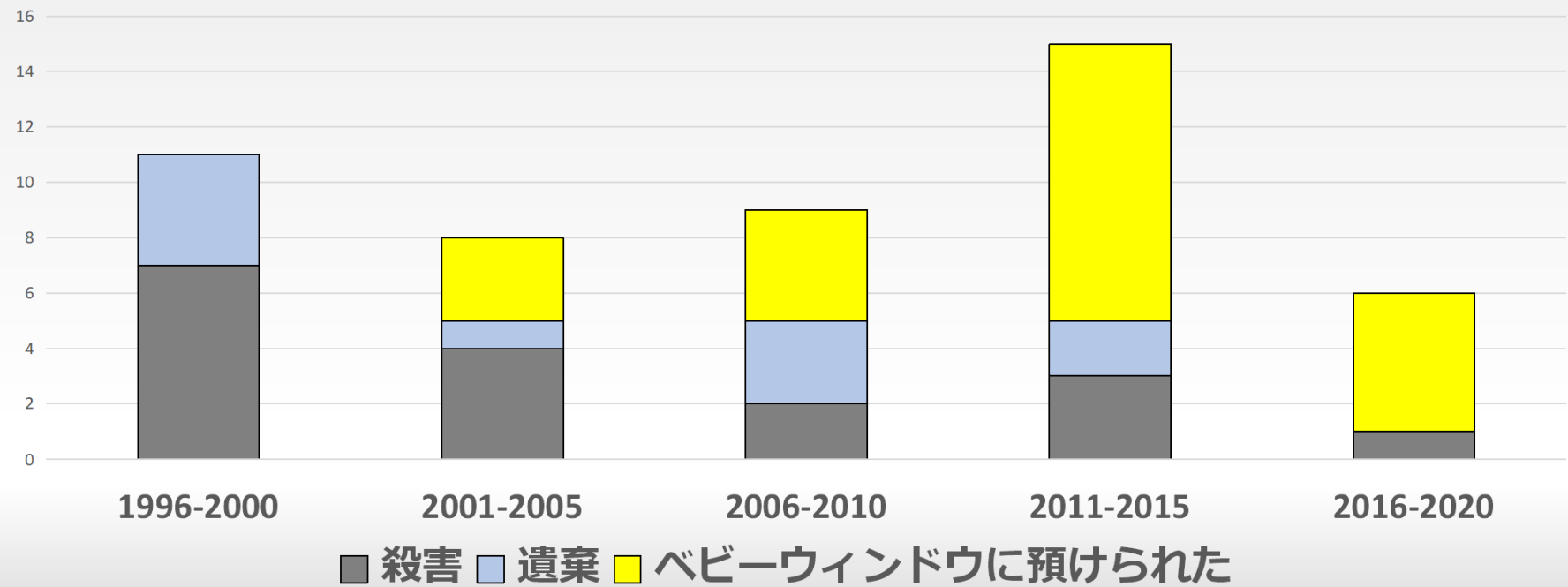
5) 統計による質

- 遺棄された、殺害された、または預けられた赤ちゃんに関する統計（捨て子統計）
- 代表的な世論調査
- 赤ちゃんを預けた後に連絡を取った母親の統計

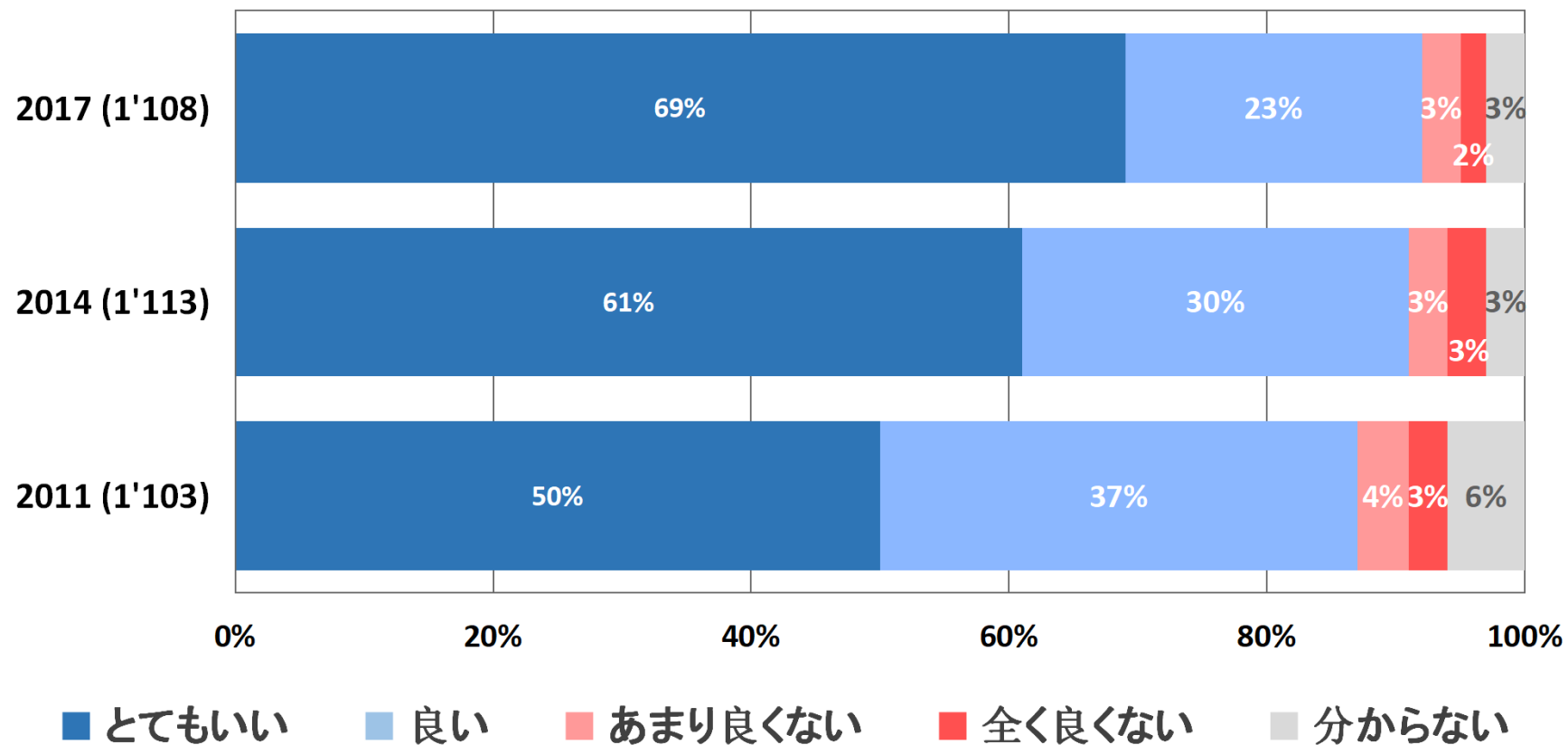
⊗ **世論形成に重要**



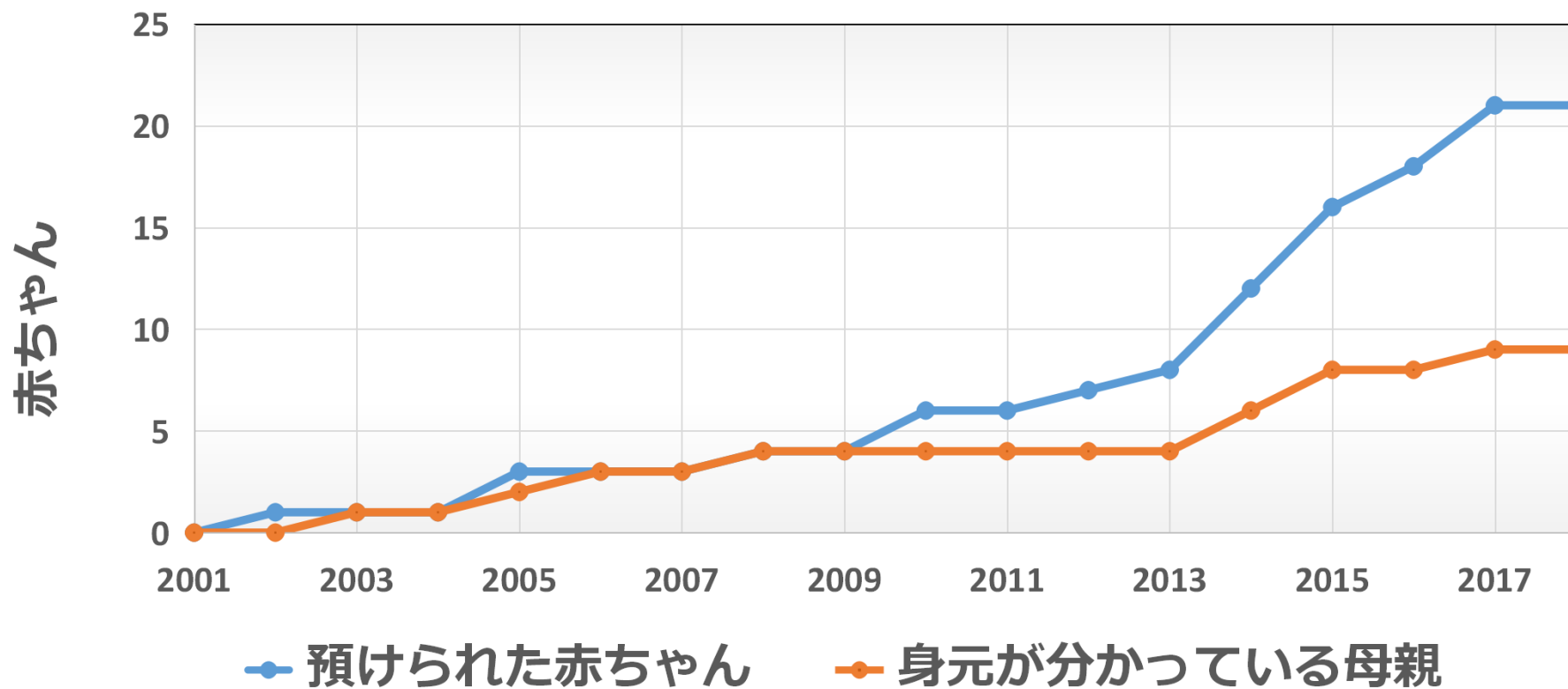
スイスにおける捨て子統計 (1996-2020)



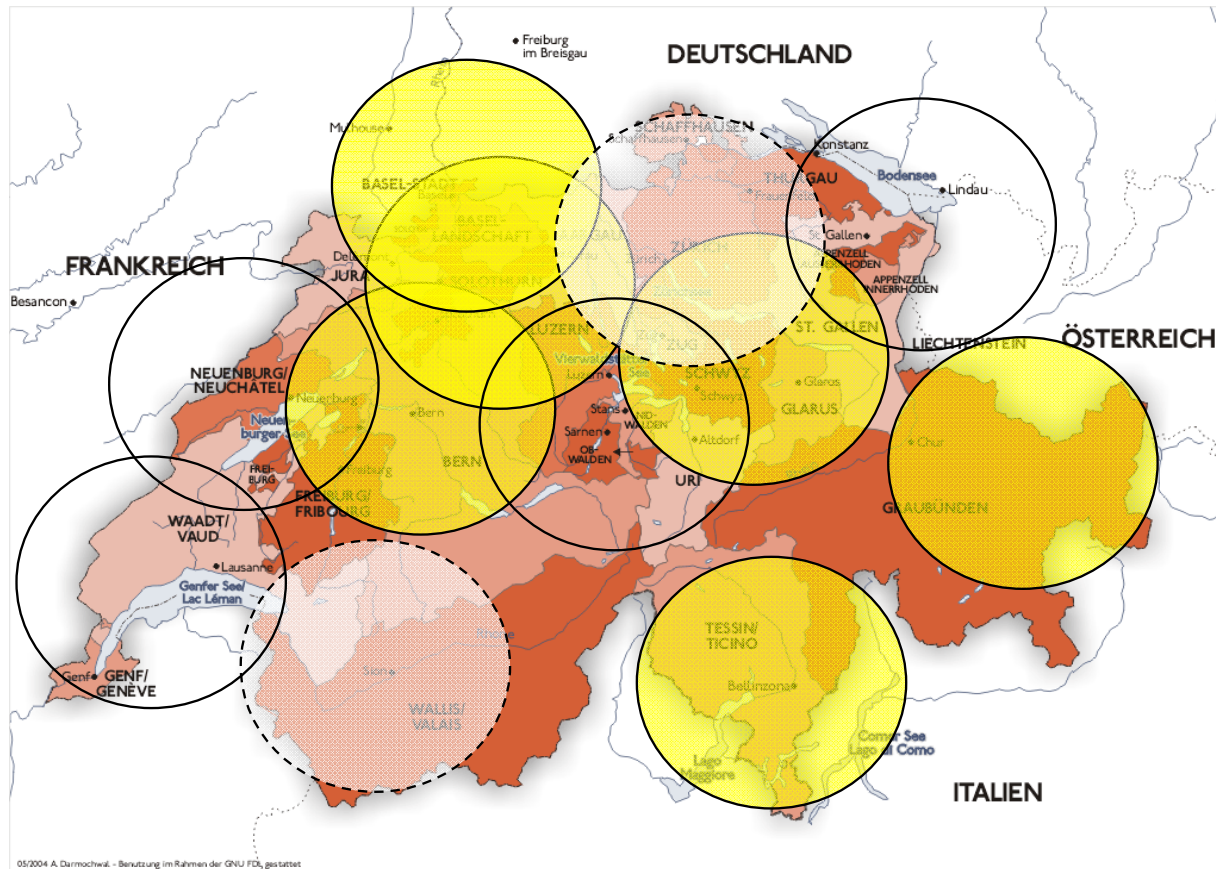
代表的な世論調査結果



ベビーウィンドウに預けられた赤ちゃんの統計



最大12のベビーウィンドウが計画されている



赤ちゃんを預ける理由

典型的な母親の言葉：

- 1) 「私の妊娠や出産を誰にも知られるわけにはいかない」
- 2) 「赤ちゃんを育てることができない」
- 3) 「中絶はしたくない」
- 4) 典型的な母親が自分の子供に書いた手紙：

「私のかわいい赤ちゃんには、私よりももっといろいろなと与えることができる家族がふさわしいです。許してね。健康と幸福を祈っています。愛をこめて、お母さんより」



連邦政治における転換

- 2001** 司法省： ベビーウィンドウは違法だ！
- 2005** 政治家の要求： 連邦政府はベビーウィンドウを閉鎖しなければならぬ！
連邦政府： いいえ、幼児遺棄や幼児殺害を防げる限りベビーウィンドウは存続できる。
- 2012** 政治家の要求： 内密出産がベビーウィンドウの代わりとなるべきだ！
連邦政府： いいえ、両者とも必要だ。
- 2016** 政治家の要求： 全ての子供は自分の出自を知るべきだ！
連邦政府： 子供の出自を知る権利よりも子供の命を救う方がはるかに重要だ。



ベビーウィンドウに対してポジティブな影響を及ぼす裁判事例

2016年、若い母親が新生児を殺した。
彼女は逮捕され法廷に現れた。

裁判官は、古い法律に基づきとても同情的に以下の判決を言い渡した：
18ヶ月の執行猶予と500スイスフランの罰金

政治家とジャーナリストは憤慨した：

**陪審員の評決は甘すぎる！法律はもっと厳しくあるべきだ。
母親は赤ちゃんをベビーウィンドウに預けることもできたのに！**



内密出産

- 母親は病院へ行き出産する
- 母親は身元を公表し、偽名を得る
- 子供は養子縁組される
- 母親に関する情報は内密に登録される
- 出産費用は健康保険により支払われる
- 母親は青少年福祉室において養子縁組に同意しなければならない
- 18歳になると、子供は母親が誰なのか教えられる



内密出産の利点

- 病院における通常出産の全ての利点を受けられる
- 子供は遅くとも18歳で自分の出自を知ることができる



内密出産の不利な点

- 不完全な匿名性：最大30人の専門家に母親の素性を知られる
- 6週間後に、母親は青少年福祉室において養子縁組に同意しなければならない
- 母親は子供に対する権利をすぐに（最大12週間後）に失う。一方、ベビーウィンドウは最大15カ月後である。
- 青少年福祉室において、母親は問題事例として登録される。
- 18年後、子供が突然現れ「やあ、お母さん。会いに来たよ！」と言う。

❌ **匿名性が必要な女性にとっては内密出産は最適ではない**



ベビーウィンドウの不利な点

- 母親は秘密裏に出産しなければならず、母子のリスクにつながる
- 子供は自分の生みの親に一度も会うことができないかもしれない



ベビーウィンドウの利点

- 幼児遺棄や幼児殺害を避けるのに役立つ
- 赤ちゃんに即座に、救急医療扶助を与えられる
- 完全匿名で赤ちゃんを預けることができる
- 危機的な状況にいる女性のストレスを減らすことができる
- 女性が刑事犯罪を犯すのを防ぐ
- 母親は自分の赤ちゃんがどこにいるのかいつも見つけることができる
- 赤ちゃんの人道的な扱いの象徴となりえる



望まぬ赤ちゃんを持つ母親の3つの選択肢

- 1) 病院での**通常出産** および通常の養子縁組
- 2) 病院での**内密出産**（偽名を介して） および養子縁組
- 3) **秘密出産及びベビーウィンドウへ安置** および養子縁組

(病院での匿名出産はスイスでは禁止されている)

- ❌ **どれにしたいか、女性には選び決定する自由を与える！**
- ❌ **幼児遺棄や幼児殺害を防ぐ助けとなる！**



ご清聴ありがとうございました！

